

HSK 毎月十二回(一・三・五・八・十一・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)発行  
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

# HSK

# 遊ぼうよ

No. 62



## 平本歩さん ☆ 講演会



## ゆめ風ネット富山

### 東日本大震災の被災障害者支援活動から

あの震災が起きてから、富山のいろんな団体に呼びかけて富山で何が出来るのかを考えてきました。最初は、富山で被災障害者の受け入れを考えてきました。被災障害者は近隣の市町村や隣の県に避難され、富山は遠いので誰も来ないということがわかり、お金の支援がいま私たちにとって出来ることではないかということで、カンパ活動を続けて来ました。これまでに、ゆめ風基金に5万円と関係団体にバザー物品を提供しその売上をゆめ風基金にカンパしてもらいました。

#### ゆめ風基金とは

ゆめ風ネット富山は、「ゆめ風基金」のネットワークの一つです。阪神・淡路大震災の時に被災障害者の支援を目的に、永六輔さんや小室等さんらが呼びかけ人になり「ゆめ風基金」立ち上がりました。ゆめ風基金のモットーは「ほんとうに必要なところへ確実にしっかり届けたい」です。

(ゆめ風基金の活動や基金の使い道の詳細は、<http://homepage3.nifty.com/yumekaze/>で書かれています)

#### これからの活動・・・

今、私たちが考えていることは、カンパ活動はこれからも続けていきたいと思えます。さらに、今回の東日本大震災と以前の阪神・淡路大震災の時の被災障害者の支援から何を教訓にして、富山の地で災害が起きたらどのように備えるのかを考えていきたいと思現地の人を呼んで報告会を企画中です。

地震と津波、それと原発事故。また富山の災害からあると思われるのは河川の氾濫。富山は田んぼを埋め立てどんどん宅地になって来ていますが、液状化の問題も起きるだろうと思われま。さらに一級河川がいくつか富山県に横たわっており、橋が没落すれば県内は分断されます。災害などで福祉避難所というものが出てきますが、それに対する賛否両論があり、被災障害者にとって何がいいのか、そんなことも視野に入れた活動にしていきたいと思えます。地域に生きること、それは特別視せずに共に災害を乗り越えていける地域社会を築いていけるかではないでしょうか。

文責：平井



(富山駅前募金活動)

## 自立生活支援センター富山の主な動き



### 〈この間の活動報告〉

5月12日(木) ケア会議開催	富山市内
5月13日(金) 事務局会議	リーぶる事務所
5月15日(日) 日曜相談会開催	リーぶる事務所
5月17日(火) 出張ピアカン開催	高志授産ホーム
5月18日(水) 第1回講師派遣	高志療護ホーム
5月19日(木) 第1回理事会	リーぶる事務所
5月21日(土) 平成23年度総会	サンシップとやま
5月25日(水) 第2回講師派遣	青山彩光苑
5月27日(金) 事務局会議	リーぶる事務所
5月31日(火) 専門支援ワーキング出席	和敬会生活支援センター
6月3日(金) 事務局会議	リーぶる事務所
6月14日(火) 就労支援ネットワーク会議出席	サンシップとやま
6月15日(水) 出張ピアカン開催	高志療護ホーム
6月19日(日) 日曜相談会開催	リーぶる事務所
6月21日(火) 出張ピアカン開催	高志授産ホーム
6月21日(火) 第3回講師派遣(富山県福祉カレッジ) 平成23年度富山県ホームヘルパー等養成研修	サンシップとやま
6月22日(水) 自立生活体験	自立生活体験室
6月24日(金) 事務局会議	リーぶる事務所
6月24日(金) 相談支援ワーキング出席	和敬会生活支援センター
6月25日(土) 第4回講師派遣(文福)重度訪問介護研修	サンシップとやま
6月29日(水) 第5回講師派遣(県生協地域政策委員会)	富山県生協
7月1日(金) 第2回理事会	リーぶる事務所
7月1日(金) 県相談支援事業者連絡会出席	和敬会生活支援センター
7月6日(水) 自立生活体験	自立生活体験室
7月8日(金) 第7回ゆめ風ネット富山会議開催	サンシップとやま
7月10日(日) HSK(北陸定期刊行物協会)総会出席	金沢市
7月12日(火) 出張ピアカン開催	高志授産ホーム
7月12日(火) 専門支援ワーキング	和敬会生活支援センター
7月13日(水) 出張ピアカン開催	高志療護ホーム
7月17日(日) 日曜相談会開催 所	リーぶる事務所
7月19日(火)・20日(水) JIL総会出席	東京都
7月21日(木) 富山福祉移動サービスネットワーク会議出席	サンシップとやま
7月22日(金) 事務局会議	リーぶる事務所
7月22日(金) 相談支援事業所説明会出席	サンシップとやま
7月22日(金) 第8回ゆめ風ネット富山会議開催	サンシップとやま
7月29日(金) 第9回ゆめ風ネット富山会議開催	サンシップとやま
7月31日(日) 連続講座第2回 「夜遊びした!働きたい!彼氏もほしい!」開催	サンシップとやま
8月5日(金) 上越市福祉交流プラザ視察出席	上越市
8月9日(火) 出張ピアカン開催	高志授産ホーム



## 平本歩さん 講演会報告

7月31日にサンシップ富山で平本歩さんの講演会を開催しました。

実は、事前に平本さんから「富山は計画停電の心配はないですか？」という問い合わせをいただいていた。人工呼吸器をつけている人にとって停電は命に関わる事。幸いこちらでは計画停電の予定はなく、大丈夫でしょうということに来ていただきました。

8年前に来られた際はご両親と一緒にでしたが、今回はヘルパーさん3人が同行。会場で見せてもらった平本さんの生活を撮ったVTRでは、富山で熱が出た場合のことを想定して近所の薬局で冷却シートを買う姿が映っていました。ヘルパーさんに「6月だから、まだ早いんじゃないの？」と言われても「腐る物じゃないから」と答えて買っていました。

自分のことは自分で決める。当たり前のことなのですが、これがなかなか難しく周りが本人の意向を無視して決めてしまう事も多いように思います。

「働く」ということに関して、自分から卒園した保育園に交渉して働かせてもらえるようになったという話の中で、働かせてもらえるかどうかの結果がわかるまでお母さんには内緒にしておき、保育園からOKをもらってからはじめて報告したそうです。また、お昼寝している子ども達に気を遣わなくても出入りできるようにと出入口にスロープを設置してくださいとお願いしたところ、快く設置してもらえたとのこと。平本さんの積極性、「働く」ことに対する意欲を感じました。



お話の後半、講師として働いている保育園でするようにピアノを演奏してくれました。突然、ヘルパーさんが紫色のカツラを被り、来場者にイヌの耳やカエルのかぶり物をかぶせて演奏開始。ヘルパーさんと共に平本さんが指でピアノを

第三種郵便物承認HSK（遊ぼうよNo.62号）通巻3160号 2011年9月15日発行  
演奏し、みんなで手拍子をしてリラックスした楽しい時間となりました。



保育園に講師に行ったり、海外の人工呼吸器をつけた人達と交流したいからと英会話を習ったり、毎日忙しい平本さんですが、今年、お母さんの元を離れて、ひとり暮らしをしようとアパートを契約したそうです。24時間365日をヘルパーさんと共に、亡きお父さんの言葉「自立に邁進せよ」を日々実践しておられます。

講演会には、平本さんと同じように人工呼吸器をつけて生活している方や、そのご家族の方などいらしていました。

講演会終了後は、同じ会場で交流会をもち、聞いてみたかった質問や感想を出し合いました。

ヘルパーさんの一人が言っておられた言葉、「歩さんはありのままの自分を受け入れていて、他の人がやっていることは何でもやりたいというんです。障害があるから無理だとは思わないのです。」



これまで色々なことにチャレンジしてきた平本さんですから、ひとり暮らしもきっとやっていけるでしょう。応援しています。（文責 田中）



## 施設（その2）

草島 昇

期待が大きければ大きいほど裏切られたときのショックも大きい。何だ小松の施設と変わらないじゃないか。職員が威張り腐って職員の天下じゃないか。はあどこも施設はこうなのかなと思い、外出を重ねて施設になるべくいないように過ごした。

そんな時、富山の青い芝からお前もちょっとこっち来いよと言われた。おかげで僕はあっちこっちを巡り歩くことが出来た。福岡とか山口とかよく行った。前に金沢にいた人が小松にいたときの僕に声をかけてきたことがあった。その人も青い芝だったのかな。とにかく見るもの聞くもの素晴らしく見えた。だけど施設にいたら活動にも限界がある。今のままじゃどうしようもないし迷った挙句に45歳で施設を出た。

まあ厳しかったこと厳しかったこと。住む家は見つからないし介護の人も中々見つからないし、はあはっきり言って施設に戻りたいと思ったことも何度かある。だけど戻れば笑いものだよな。その一心だけが僕を支えた。いろいろな人の助けを借りてどうにかこうにか生活が出来るようになった。

それから私は青い芝をやめて、今の妻が行っている教会へ行った。世界史を少しかじったことのある僕はキリスト教のことは少しは分かる。だけど中々わからないものを一度に覚えようとするとうるさいものがある。

2,3年後教会で妻と結婚式を挙げた。頭の中が真っ白だった。自分でも何を考えてるか分からなくなった。どうしようか、ああしようかと考えるけどどれもうまくいかない。やっぱり俺には家庭生活は無理なのかなと思ったこともある。酒におぼれる毎日だった。

そんなとき大谷美術に一回行って見た。富山の施設にいたときにここの施設によく来られて僕に油絵を教えてくれた。油絵でも描くかという気持ちになった。それからしばらくして1年ほどたってからアートフェスタに県の展覧会があった。どうせ受かりっこないと思って1枚描いて出してみた。あれ入選しちゃった。その次の年も、もう1回落ちるかなと思って描いてみたら

まぐれがおきた。それから大谷先生から個展でも開いたらどうといわれた。そんなことは一つも考えていなかったから返事に困った。僕だけのことならいい。まあやってみるかとかOKした。いろんな人からいろんなことを言われたけど成功したと思う。無事に終わった。

アートフェスタはそれから3回4回と回を重ね僕は4年連続入賞した。変だな。自分の絵が受かるわけがないのにと思いつつ今僕は2回目の個展に向かって準備を始めているところです。絵はどうやって描くって言われたけど、左足の親指と人差し指に筆を挟んで描いているだけです。

2、3年ほど前から行き始めた生きる場でまたパソコンで詩を打つことを覚えました。川柳もサラリーマン川柳を読んでみてサラリーマン川柳は書けるようになり、俺にも川柳の才能があったのかとしみじみ思いました。

皆さんこれが僕1人の力で出来たことではないですよ。協力者がいて理解者がいて初めて出来たことです。そのことをこれからも忘れないで自分の出来ることを伸ばしていきたいと思います。づらづらと書きましたがお許し下さい。

僕が施設にいたときに何をやっても在宅の障害者からよく言われたのですけど、「お前らどうせ施設障害者やろ。生活には困ってないし3度の飯はあたるし、贅沢はし放題だろ」そう言われたとき僕は何も言い返せませんでした。なぜならその通りだったからです。このセリフだけは僕が生きている限り使いたくないと思う。何故なら僕だって40数年間施設障害者をやってきた身だから。

相手のいいところを認めてあげるのは筋だと思うけど、まだ施設障害者と在宅障害者の壁は根強く残っているような気がする。その壁が無くならなきゃ真の社会が来ないと思う。行政はこれをうまく利用しているけどね。それをこれからどうしていくかは僕たちの仕事じゃないかなと思うようになってきた。えらそんなことを言ってもどこまで出来るかわからないけど、難しいからその壁を壊さない限りダメなんだよねと思う最近の私です。

余談になりましたがここまでにします。

# 会費の納入、カンパを頂戴し

## ありがとうございました。

4月1日～7月31日までの間に頂戴した会費・カンパは以下の通りです。お名前の掲載については許可の頂いた方のみお載せすることにしてはいますが、掲載の可否について書かれていないものが多いため、各項目の人数と合計金額のみお伝えします。

正会員	賛助会員	機関紙購読料	寄付金
10名	13名	6名 1団体	13名
50,000円	39,000円	2,520円	98,640円

# サマーボランティア受け入れ

富山市社会福祉協議会のボランティア事業で男子高校生2人が8月1日～5日まで来てくれました。私たち生きる場メンバーの仕事の補助等を通じ自分たちの活動や思いを知ってもらい交流したいと考えこんなことをやりました。

2011年サマーボランティア計画

曜日	月 1	火 2	水 3	木 4	金 5
午前	自己紹介 本人との最終プログラム調整	作品制作補助	草島家訪問	展示準備補助	●未定
担当	全員・跡治	大石	草島夫妻	跡治	
目的	●自己紹介後、プログラムの最終調整を行う。	●ただ、書道をしているのではなく、働くや活動の一部に書道があり、商品や展示に使う事を知ってもらう。	●草島夫婦の生活スタイルや地域生活への思いを語ってもらう。	●展示補助	●未定
午後	オチャールづくり	作品制作補助	草島明美食事介助	展示補助	反省会
担当	各自持ち場担当者	大石	草島	跡治	全員
目的	●役割分担を作るという事を知ってもらう共に障害者が何かを与えられるだけ存在でないことを感じてもらいたい。	●ただ、書道をしているのではなく、働くや活動の一部に書道があり、商品や展示に使う事を知ってもらう。	●食事介助を通じ介助ってなんだろう？を感じてもらう機会になれば良いな。	●サンシップへ	●アイスかケーキと共に(笑)



(作品制作補助)



(反省会の様子)



2012年

# 年賀状印刷承ります。

2012年版 (平成24年版)

年賀状印刷見本帳あります

お気軽にお問い合わせ下さい



生きる場センターでは今年も年賀状印刷に取り組みます。

25種類のデザインをご用意致しました。センターオリジナル、辰のイラストもあります。

また、オリジナルデザインの作成も受け付けています。

## オリジナルカレンダー

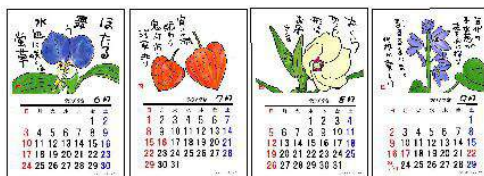
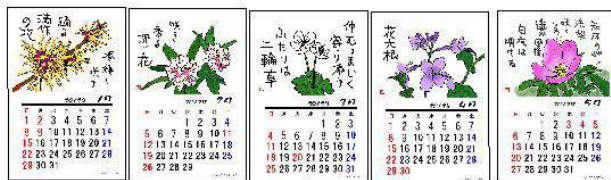
2007年から始まった生きる場センターのオリジナルカレンダーも6弾目となりました。絵手紙風イラストに俳句などを綴った心温かくなるカレンダーに仕上がりました。

机に、お部屋の片隅に、飾って頂けたら幸いです…

表紙+12ヶ月 (フルカラー)

サイズ: 100×148mm (はがき)

※ 受注限定でB5サイズもあります



## 年賀状見本帳・オリジナルカレンダーのお問い合わせ先

特定非営利活動法人

自立生活支援センター富山

作業所部門 (地域活動支援センターⅢ型)

# 富山生きる場センター

(〒939-8075) 富山県富山市今泉312番地

TEL&FAX (076) 491-3385

e-mail: x41zu358@tym fitweb. or. jp